

## 青少年教育指導者等の養成及び資質向上事業

### 「第38期はなやまボランティアスクール」

#### 1. 趣旨

全国28施設の国立青少年教育施設でボランティア活動が行える「法人ボランティア養成カリキュラム」において、ボランティア活動に必要な理論と技術についての実践的な研修を行い、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。また、希望者はさらにスキルアップの機会を持ち、楽しく安全に活動を指導するために自然体験活動指導者（NEAL）リーダーの資格を取得できる。

#### 2. 事業の概要

(1) 期日 平成29年5月27日（土）～5月28日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

①参加対象 高校生以上のボランティア活動を志す方（一般成人・学生・高校生） 50名

②参加人数 93名（男52名 女41名）

【参加者の所属先】

- ・オーエンス泉岳自然ふれあい館
- ・宮城学院女子大学 ・宮城教育大学 ・宮城県古川黎明高等学校
- ・尚絅学院大学 ・仙台高等専門学校 ・仙台大学 ・仙台白百合女子大学
- ・東京農業大学 ・東北学院大学 ・東北生活文化大学高等学校
- ・東北福祉大学 ・文教大学

#### 3. 企画運営のポイント

- ①ボランティアへの理解を促し、活動するボランティアを増やすため、講義の一部を利用した広報活動などで、高等学校や短期大学、大学等へ参加を積極的に呼びかけた。
- ②先輩ボランティアに企画運営を任せるコマを設ける等、身近なモデルとして活躍することでボランティアの役割のイメージを持たせ、今後のボランティア活動につながるようにした。

#### 4. 日程 「法人ボランティア養成カリキュラム」科目名で記載

	5月27日（土）	5月28日（日）
午前	<開講式> 9:30 <説明I> 9:50～10:50 「青少年教育施設におけるボランティア活動」 [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 先輩ボランティア <講義I> 11:00～12:30 「青少年教育」 [講師] 文教大学 准教授 青山 鉄兵氏	<講義・演習II> 9:00～12:00 「普通救命講習I」 [講師] 栗原市消防本部警防課 職員 8名
午後	<講義II> 13:30～15:00 「ボランティア活動の意義」 [講師] 文教大学 准教授 青山 鉄兵氏 <講義III> 15:10～16:10 「青少年教育施設の現状と運営」 [講師] 国立花山青少年自然の家 所長 松村 純子	<説明II> 13:00～14:00 「登録制度について」 [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 <閉講式> 14:20 「修了証授与」
夜	[講義・演習I] 16:50～20:50 はなやまプログラム体験 「野外炊事～カレーコンテスト～」 [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 先輩ボランティア	/

## 5. 主な活動内容



①講義Ⅱ「ボランティア活動の意義」青山先生



②講義Ⅲ「ボランティア活動の技術」



③先輩ボランティアが大活躍



④総勢97名での講義・演習Ⅱ  
「普通救命講習Ⅰ」

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足：63% やや満足：37% やや不満：0% 不満：0%

### (2) 参加者の声

- ・すぐ出会った人との野外炊事も新鮮で非常に良かった。カレーコンテストの企画も場が盛り上がったので良かった。
- ・青山先生の講義は座学ではあったものとても面白く勉強になる話だった。ポイントをおさえながらの講義だったため、自分の中にしっかりと入りこむものだった。

### (3) 成果

参加者同士もしくは参加者と先輩ボランティアとが関わる場面を多く作ることで、人間関係を深めることができた。早くも、次年度の先輩ボランティアとして本事業に参加するためにより多くの事業に参加したいという声が聞かれるほど、先輩ボランティアの存在は大きく、参加者の今後のボランティア活動の推進に影響を及ぼすことができた。

### (4) 課題

今回100人規模の団体をスケジュール通りに動かすことに主眼を置きすぎて、プログラムの面白さに目を向けられなかった。そのことが参加者アンケートの結果にも表れていると捉えられる。参加希望者に恵まれて定員の2倍の数を受け入れることができたことは良かったが、事業のねらいの達成に向けて、参加者の満足度、講義内容の理解度を上げるためには適正な定員で実施できるよう募集要項への記載情報等を検討する必要がある。

担当：企画指導専門職 島貫 織江